

VIBES

ハーレー・ダビッドソン
ライフ マガジン
ハイクス

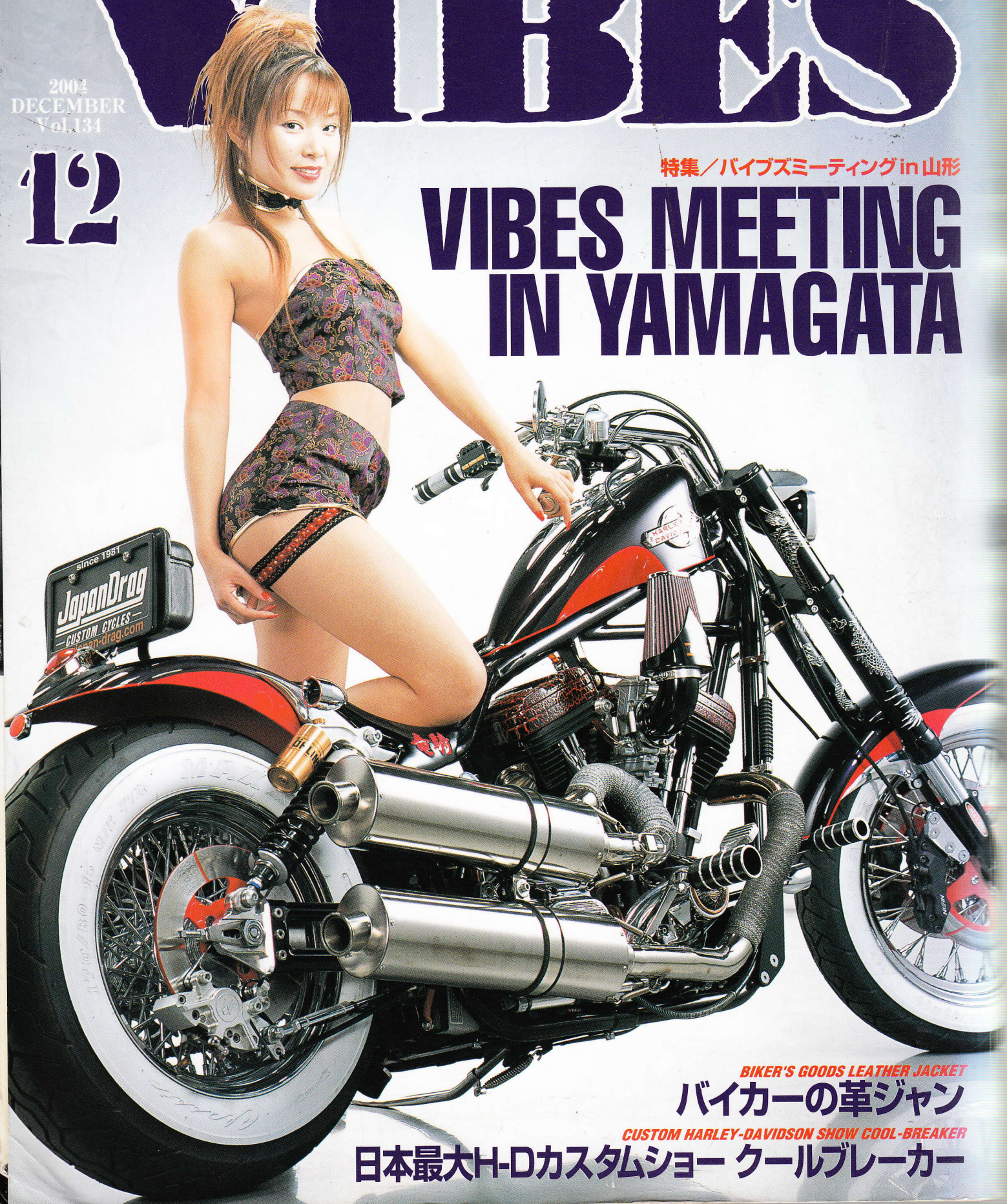
Harley-Davidson
LIFE MAGAZINE FOR BIKERS

2004
DECEMBER
Vol.134

12

特集 / バイクズミーティング in 山形

VIBES MEETING IN YAMAGATA

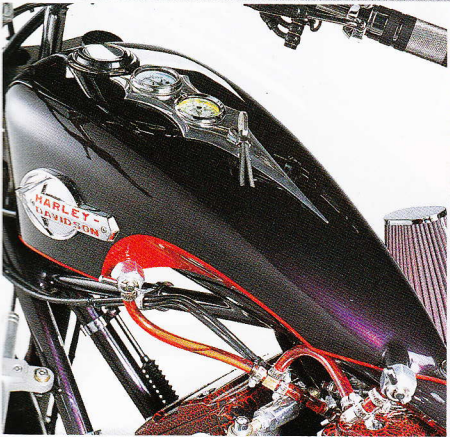


BIKER'S GOODS LEATHER JACKET

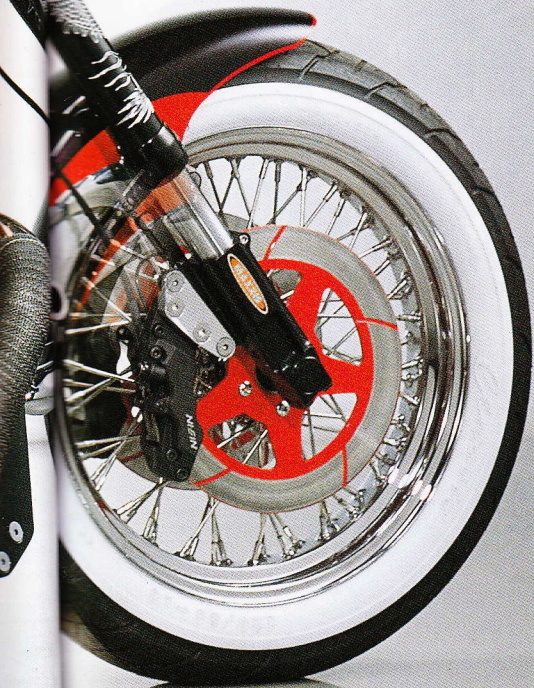
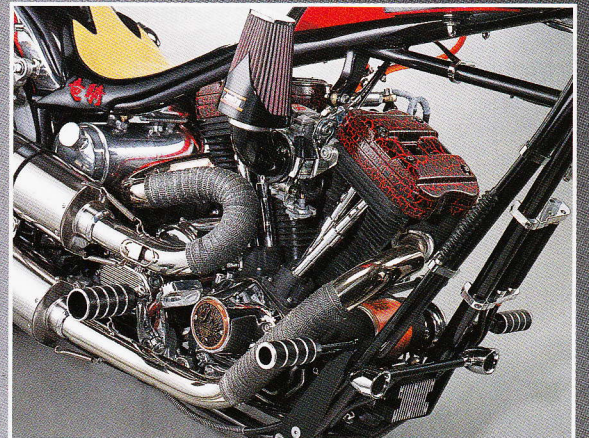
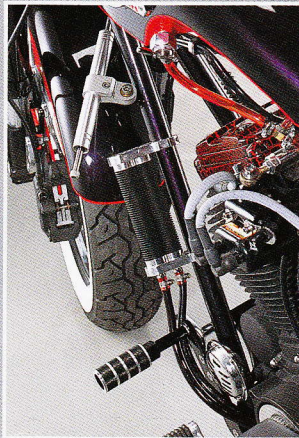
バイカーの革ジャン

CUSTOM HARLEY-DAVIDSON SHOW COOL-BREAKER

日本最大H-Dカスタムショー クールブレーカー



DRAGON RIDER



流行、予算、法律…カスタムビルダーを縛るものは多い。そんな作り手のジレンマを超えたものを、何年か周期で好きなように作らないとストレスが溜まる。そう語るのは、四半世紀もの間この世界で飯を喰ってきたJDCCの小川氏。“いま”乗りたいバイクを自分のために製作したこのFXR。“アダルトチョッパー”というコンセプトの下、バイク屋でありチョッパー屋である氏の長年の経験から、好きなものを引き出して製作された。

ベースはバラバラのFXR。ラバーマウントの特性を活かし、走行性能を最大限に引き出す“チョッパー”のために、まず抜群の安定性を誇るチェリアーニの最長倒立フォークを選択。その長さに合わせてフレームはケニーボイス製のストレッチフレームに。ネックの補強やシートレールの変更などに加え、タイヤ幅に合わせたRフェンダーを溶接している。そのタイヤは正規代理店を勤めるマキシスのホワイトウォール。F18"で60本、Rは15"で実寸幅は200サイズの80本で、剛性と重量に折り合いをつけたスポーク本数だ。EGとTMのオフセットは16mmで、スイングアーム左側も1"オフセット。負荷を考慮してワイドハブベアリングとし、内側オフセットの sprocket と520幅のサンダンス530チェーンでワイドタイヤの難点を克服している。

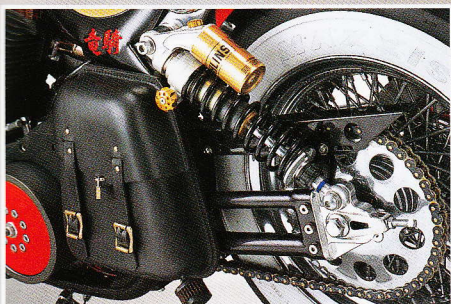
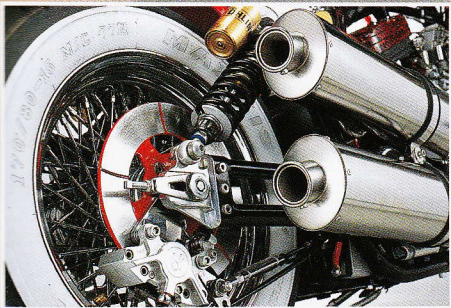
エンジンは耐久性重視で吸排気とカムのみ変更。チタンマフラーの軽さはラバーマウントで揺れるエンジンに最適。エキパイのレイアウトは等長を意識。「自分の中の許せる範囲でバイク工学を守り、破る」という小川氏の思想は、そこかしこに反映されている。ダイナ用オーリンズサスは最適なバネレートで、爪のようなワンオフウィンカーブラケットにマウント。オイルタンクはムーンアイズ製で、バッテリーはTM裏に配置。ガソリンタンクはケネディーズ製を大幅に加工している。ライザーはジャバンドラッグサービス時代の手作りフルバックで、昔乗っていた79FXSのポジションを再現。途中から“竜”というコンセプトが加わり、ロッカーカバーにはクラッキングペイント、シートはオーストリッチで有機的にデザイン。そして総理大臣賞彫金師の手で阿吽の竜がフォークに刻み込まれる。

年齢、社会性、車検、走行性、耐久性、見た目…すべてを飲み込んだ、誰の真似でもないオリジナル。そのキャリアは伊達じゃない。



VIBES SHOT

Get into ecstasies Custom Harley





DRAGON RIDER

オーナー	JDCC	ハンドル	JDCC SUPER STREET BAR
カスタム製作	JAPAN DRAG CUSTOM CYCLES	ライザー	JDS 12" PULL BACK
年式	1992	Rショック	CHLINS FOR FXD
モデル	FXR3	スイングアーム	KENNY BOYCE Modified
エンジン年式	1992	Fファンダー	ONE OFF
モデル	EVOLUTION	Rファンダー	CGI Modified
排気量	1340cc	ガソリンタンク	PAT KENNEDYS Modified
点火装置	CRANE HI-2	ペッドコック	PINGEL DOUBBLE
コイル	CRANE FIRE BALL	シート	JDCC
シリンダーヘッド	H-D	オイルタンク	MOONEYES
バルブ	H-D	ヘッドライト	KUJIMA Modified
シリンダー	H-D	ウインカー	POSH
ピストン	H-D	テールランプ	KUJIMA
ケース	H-D	スピードメーター	W&W
クラシク	H-D	Fペダ	BMX
カム	SUNDANCE SE-1	Rペダ	
キャブレター	SUNDANCE FCR	シーシーバー	
エアクリナー	K&N	Fホイール	CGI 18"
エキパイ	ONE OFF STAINLESS 2"	スポーク	80 SPOKE
マフラー	JDCC TITANIUM	ハブ	WIDE
ミッション	H-D 5 SPEED	リム	3 DO-18
シフト形式	FOOT	タイヤ	MAXXIS 170/80H18PW
クラッチ	BDL	Rホイール	CGI 18"
駆動	JDCC	スポーク	80 SPOKE
1次ドライブ	BDL 3" OPEN BELT	ハブ	WIDE
2次ドライブ	SUNDANCE/RK CHAIN	リム	7 DO-15
ミッションスプロケット	24T	タイヤ	MAXXIS 170/80H15RWW
ホイールスプロケット	48T	Fホイール	NISSIN 8 PISTON DIAL
フレーム年式		マスターシリンダー	NISSIN RADIAL & MINI TANK
タイプ	KENNY BOYCE SUPER STREET	ローター	GMC
製作	KENNY BOYCE/JDCC	Rホイール	PM 2 PISTON
ネック角		マスターシリンダー	H-D FOR FXR & MINI TANK
延長・カット		ローター	GMC
Fファンダー	CERIANI UP SIDE DOWN	塗装タイプ	2 TONE
アフターチェーン	CERIANI	色	MONIGHT PURPLE/FERRARI RED
インナーチェーン	CERIANI	燃料	UPRETHANE
トリプルツリー	CERIANI	ペインター	OGAWA



ZINGY'S CUSTOM CYCLES

テールカウルはハヤサから型取り、シートはチョッパーらしさを残すためにあえて70'S風に。今後、ヘッドライトなど保安部品をつけ公道仕様にするとのこと。3432とはオリジナルのペビー服ブランド。クロームスポーツと命名。



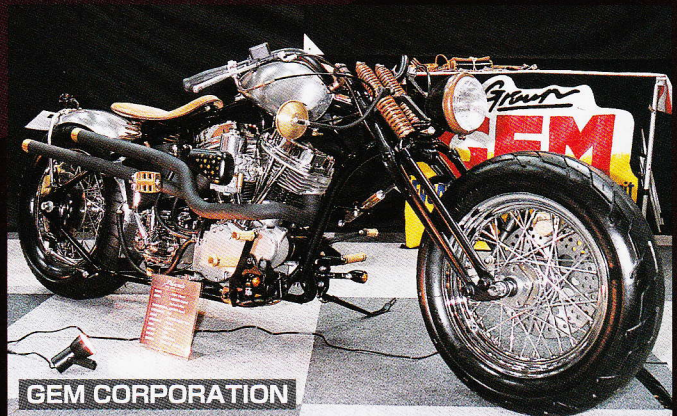
JENE CHOPPERS

“最先端と昔から変わらないものとのシンクロ”がテーマ。ダウンチューブを貫く日本刀、とぐろを巻く龍をイメージしたマフラーなどその創造性は群を抜く。銅メッキのフレームが深みある色を発することで完成の時を迎える。



ZERO ENGINEERING

オーナーからの「三味線ロックでちょっと小悪魔的」という禪問答的注文に応えた46年式FL。純正フレームのネックを下げ、スプリンガーのFレグを1"落として凝縮感を強調。ポップな色とマットな金属のコントラストが秀逸。



GEM CORPORATION

フェニックスのグースネックモデルをベースに製作されたデモバイク。全体のラインにこだわって製作された。腰下S&S、腰上V-TWINで組まれたバンヘッドを搭載し、来年以降は全モデルにバンモーターを搭載できるように検討中。



TARFU

今年のショーで最も話題を呼んだターフのノンダウンチューブ。ゼロオフセットの片持ちスイングアームを可能にするのはミッション裏に隠されたドライブラインブレーキ。ペイントは和のイメージで、シートには富士山。現在走行中。



JAPAN DRAG CUSTOM CYCLES

倒立フォークに彫金で描かれた昇り竜、メーターが埋め込まれたタンク、生々しいほどリアルに塗装されたヘッド、騎竜と刺繍されたシート、シート下に仕込まれたスイッチ類など、奇抜な発想とは裏腹に走り重視し考えられた1台。



CHIKARA

実力派プライベートーによる'54年式KHカスタム。60年前にドラッグレースが現在のスタンスであったとしたら…というコンセプトでメカニカルに製作。一見未完成と思わせておいて、配線すれば走れる状態にあるユニークな構造。



JUNE BRAND

純正系ビンテージレストア&カスタムを得意とする同店。'47年式のLULを輸入時についで社外パーツを外してコツコツとフルストックに。その後約半年かけて40~50'S当時のポバースタイルを想定してカスタムされた。